ウ　安全管理

(7) 造園施工管理の実践

3　内容の取扱い

(1) 内容を取り扱う際には，次の事項に配慮するものとする。

ア　造園や造園施工材料の特質及び合理的な施工管理方法について理解できるよう留意して指導すること。また，プロジェクト学習では見学や実験・実習を通して，科学的かつ創造的に学習を進め，造園施工管理に関する実践力が身に付くようにすること。なお，地域の緑地環境の実態や学科の特色等に応じて，適切な題材を選定すること。

イ　〔指導項目〕の(1)については，科目学習の導入として扱うこと。また，(7)については，(1)を踏まえ，(2)から(6)までと並行して，又はそれらを学習した後に扱うこと。

(2) 内容の範囲や程度については，次の事項に配慮するものとする。

ア　〔指導項目〕の(1)については，農業科に属する他の科目と関連付けながら科目全体で科学的かつ創造的に学習を進めるように扱うこと。

イ　〔指導項目〕の(2)については，緑地環境，造園，造園施工と管理の現状，適切な施工材料の必要性，施工管理の技術，施工管理の課題の概要について扱うこと。

ウ　〔指導項目〕の(3)については，造園施工材料の種類と特性から造園空間に見合った造園施工材料の選定及び施工管理に至るまで系統的に扱うこと。

エ　〔指導項目〕の(4)については，造園土木施工で使用する機械，器具について基礎的な内容を扱うとともに，合理的かつ安全な機械，器具の使用方法について扱うこと。

オ　〔指導項目〕の(5)については，施工に必要な機械，器具について基礎的な内容を扱うとともに，工作物の補修などの維持管理及び造園の目的に沿った景観の維持管理について扱うこと。

カ　〔指導項目〕の(6)については，実際の工事を想定した施工計画と工事の管理を関連付けながら，工程管理，安全管理，品質管理に関する基礎的な内容を扱うこと。

キ　〔指導項目〕の(7)については，造園施工管理に関する実践的な活動を行うこと。

第27　造園植栽

1　目　標

農業の見方・考え方を働かせ，実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して，造園植栽に必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1) 造園植栽について体系的・系統的に理解するとともに，関連する技術を身に付けるようにする。

(2) 造園植栽に関する課題を発見し，農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を養う。

(3) 造園植栽について目的や環境に応じた合理的な植栽につながるよう自ら学び，農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

2　内　容

1に示す資質・能力を身に付けることができるよう，次の〔指導項目〕を指導する。

〔指導項目〕

(1) 「造園植栽」とプロジェクト学習

ア　造園植栽に関するプロジェクト学習の意義

イ　プロジェクト学習の進め方

(2) 造園植栽の意義と役割

ア　造園植栽の意義

イ　造園植栽の特色と役割

ウ　植栽と風景

(3) 植物材料の種類と特性

ア　造園樹木

イ　地被植物

ウ　造園で活用する草花

(4) 植栽計画

ア　配植のデザイン

イ　植物の特性と植栽計画

(5) 造園植栽施工

ア　植栽施工

イ　芝生，地被の造成

ウ　花壇の造成

(6) 造園植栽管理

ア　樹木の管理

イ　芝生，地被，花壇の管理

ウ　景観と植栽管理

(7) 造園植栽の実践